

障害者雇用の取組紹介 株式会社アドバンス

奈良県障害のある人もともに暮らしやすい社会づくり条例

特別支援学校 奈良県立高等養護学校

はたらく障害者応援プレミアム商品券

福祉事業所レストラン

「障害者差別禁止指針」と「合理的配慮指針」について

「障害者はたらく応援団なら」の取組

インタビュー | ハローワーク桜井 なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう

2015.9
No.4

障害者就労支援機関

公共職業安定所

職業紹介等職業に関するあらゆる相談を行います。特に公共職業安定所には専門の職員が配置されていて、きめ細かな相談に応じています。

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、雇用、医療・保険、福祉、教育等の関係機関との連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導、助言その他の支援を行います。

なら障害者就業・生活支援センター コンパス	〒630-8115 奈良市大宮町 3-5-39 やまと建設第3ビル 302	TEL 0742-32-5512 FAX 0742-93-7712
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3階 302号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7176
なら南和障害者就業・生活支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下渕 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

奈良障害者職業センター

障害のある人に対して、ハローワーク（公共職業安定所）と協力して、就職に向けての相談、職業能力の評価、就職前の準備訓練から、就職後の職場適応のための援助まで、個々の障害のある人の状況に応じた継続的なサービスを提供します。

奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899
-------------	----------------------------	--------------------------------------

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

高年齢者等及び障害者の雇用に関する相談・援助、給付金・助成金の支給申請の受付、障害者雇用給付金制度に基づく申告・申請の受付、啓発等の業務を実施しています。

奈良支部	〒630-8122 奈良市三条本町 9-21 JR 奈良伝宝ビル 6階	TEL 0742-30-2245 FAX 0742-30-2246
------	--	--------------------------------------

発行元	奈良県健康福祉部障害福祉課 〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 TEL 0742-27-8514 Fax 0742-22-1814	奈良労働局職業安定部職業対策課 〒630-8570 奈良市法蓮町 387 番地 奈良第3地方合同庁舎 2階 TEL 0742-32-0209 Fax 0742-32-0225
-----	---	--

作成	社会福祉法人ふろぼの 〒630-8115 奈良市大宮町 3丁目 5-39 第3やまと建設ビル 201号 TEL/Fax 0742-81-7032
----	--

株式会社アドバンス

地域貢献と働く楽しさを大切にする理念に連なる障害者雇用



マクドナルド大和新庄店で働く和田祐典さん(中央)、山口光守店長(左)、岡嶋秀樹社長(右)

社長の岡嶋秀樹氏は、1992年に、日本マクドナルド株式会社を退職とともに同社（当時有限会社）を設立、フランチャイズオーナーとして田原本店から営業を開始されました。障害者雇用についても積極的で、2014年に創設された「障害者はたらく応援団なら」の登録企業として、先導的な役割に立つ企業でもあります。今回は、障害者雇用をされている店舗のひとつである大和新庄店を訪ね、岡嶋社長を中心に、店長の山口光守さん、現場で活躍する和田祐典さんに、アドバンス社の障害者雇用の取組や、経営理念についてお話を伺いました。

株式会社アドバンス（以下アドバンス社）は、奈良県内にある43店舗のマクドナルドのうち、約半数にあたる23店舗をフランチャイズ展開している企業です。社名が表に出ることは少ないため、社名そのものを知らない人も、同社が経営するマクドナルドには多くの方が来店されたことがあることうと思います。

奈良県障害者雇用促進ジャーナル はたらく

No.4 2015年9月発行

障害者雇用の取組紹介 Vol.3 ————— 1

株式会社アドバンス

地域貢献と働く楽しさを大切にする理念に連なる障害者雇用



奈良県障害のある人もない人も ————— 5
ともに暮らしやすい社会づくり条例

特別支援学校 Vol.1 ————— 6

奈良県立高等養護学校

はたらく障害者応援プレミアム商品券 ————— 8

福祉事業所レストラン Vol.3 ————— 9

カフェ サンウッド

喫茶みそら屋

改正障害者雇用促進法に基づく
「障害者差別禁止指針」と ————— 10
「合理的配慮指針」について

「障害者はたらく応援団なら」の取組 ————— 12

インタビュー
Interview 第3回

ハローワーク桜井
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう

「奈良県障害者雇用促進ジャーナル」は、県内の企業や経済・労働団体等の皆様に、障害者雇用施策や障害者雇用に関する制度、障害者雇用に関する先進事例などを紹介し、障害者雇用に関する様々な情報を共有していただくことができるよう、奈良県と奈良労働局が共同で発行します。

このジャーナルを通じて、障害のある人が一人でも多く就労し、働き続けるための一助となることを期待しています。

是非ともご一読いただきまして、奈良県における障害者雇用の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表紙写真の紹介：マクドナルド大和新庄店で働く和田さん

今から5年前の2010年、障害者雇用に関する制度が改正され、それまで対象外であつた短時間労働者についても、0.5人と計算するかたちで制度の対象となりました。アドバンス社はもともと障害者雇用率をクリアしていましたが、より積極的に障害者雇用に取り組み始めたのは、この頃でした。

岡嶋社長に当時を振り返つていただきます。

気持ちがあつても、どうしたらいいのかわからなかつた

当社は地域密着と地域貢献を指針にかけていますが、それまではどちらかというと幼稚園やスポーツ団体への協賛など障害のない人向けのものが多くたのです。しかし、当社で



(株)アドバンス社長 岡嶋さん

のアルバイト業務は、仕事が部分、部分に分割され、それが集合して全体がシステム化され、ワンパートに限つてみれば単純です。するかたちで制度の対象となりました。アドバンス社はもともと障害者雇用率をクリアしていましたが、より積極的に障害者雇用に取り組み始めたのは、この頃でした。

岡嶋社長に当時を振り返つていただきます。

わたくしもフランチャイジーの間では、さまざまな情報交換があるので、誰も「どういうことをしたらいのか」がわかりませんでした。ハローワークの方に相談してみましたが、「そんなに次々と人を紹介できるわけではなく、本人の適性などがありますから、むやみに紹介しても難しいところがあります」とのことでした。

そんなときに、養護学校の先生が「生徒の実習から始めて就職に結びつけるのはどうですか」と、飛び込みでいらっしゃいました。それが「あ、こういうことなのか」というのが分かるきっかけとなりました。「養護学校」というひとつの切り口がわかつてからは、フランチャイズのオーナーさんが養護学校を訪ねコンタクトをとることで、そこから広げられるということを学習しました。高等養護学校では、あらゆる企業で実習をされていますので、その中に当社も入れていただき、実習の結果から興味があれば、「ぜひ」ということになりました。

マクドナルド大和新庄店での実習は、昨年の6月に始まり、障害者職業センターから2ヶ月間のジョブ「一チによる支援期間を経て就職となりました。



はたらく人紹介
和田祐典さん

和田さんは、普通高校を卒業後に就職をしましたが、うまくいかず退職し、相談機関の支援を受けながら実習体験を重ねていました。

関係支援機関の点から面への交流

養護学校の他にも、ハローワークとのおつき

あいをしています。当社の取組が理解されるにつれ、「では、次に難病の方はどうですか」と

いうふうに、障害者雇用を勧めていただくな

どの広がりがでてくるようになりました。県内各地に店舗がありますから、障害者就業・

生活支援センターとも幅広く関わらせていた

だいてます。そして少しずつ、受入体制ができ

てきました。最初のころはやみくもでしたね。

そもそも、養護学校、ハローワーク、就業・

生活支援センターと、いろいろな支援機関があ

るので、一般の企業さんでしたらなおのこと、い

まひとつピンとこられないと思いますよ。

ただ、それぞれのつながりについてよく分か

らない場合でも、奈良県の場合は「障害者はた

らく応援団なら」という一つのまとまった窓口

がありますので、そこを通して随分わかりや

すくなつてきています。「障害者はたらく応援

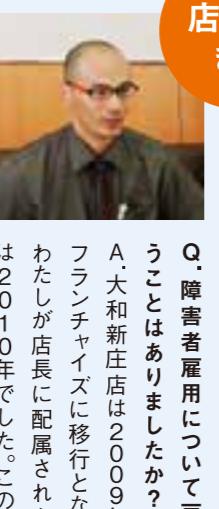
団なら」がてきて2年程ですが、それまでは点

の交流だったのが面の交流へと変化してきた

と感じています。

店長に
きく

山口光守さん



Q. 障害者雇用について戸惑うことはありますか？

A. 大和新庄店は2009年にフランチャイズに移行となり、わたしが店長に配属されたのは2010年でした。この頃、すでに10年以上勤続されている障害者スタッフがおられましたので、社長から、もう一人受け入れができないかという相談が来たときは、障害のある人とともに働くにあたって特に構えることはありませんでした。

マクドナルドでは、最初から全体的に取り組むのではなく、例えばハンバーグを焼くという仕事を繰り返します。二つの仕事はそれほど難しくないため、どなたでも経験さえ積めばできると思います。

最初からうまくできないのは、障害のない人も同じですから。

Q. 和田さんの仕事ぶりはいかがですか？

A. 最初から、はきはきとされ、不安や疑問も、ちゃんと

会社とは何か、働くとは何か、すべてはそこに帰結する

当社の強みというのは、社員もアルバイトも含め『人』なんです。障害者雇用もその一環になります。

会社とは何のためにあるのだろうか、と考えたとき、それは働く人のものであると思いません。では、働くとは何かと考えると、それは

だいてます。そして少しずつ、受入体制ができてきました。最初のころはやみくもでしたね。

そもそも、養護学校、ハローワーク、就業・

生活支援センターと、いろいろな支援機関があ

るので、一般の企業さんでしたらなおのこと、い

まひとつピンとこられないと思いますよ。

ただ、それぞれのつながりについてよく分か

らない場合でも、奈良県の場合は「障害者はた

らく応援団なら」という一つのまとまった窓口

がありますので、そこを通して随分わかりや

すくなつてきています。「障害者はたらく応援

団なら」がきて2年程ですが、それまでは点

の交流だったのが面の交流へと変化してきた

と感じています。

生きがいや楽しさ、やりがいに結びつくものではないかと思うのです。そうでなければ、単純にお金だけを目的にした場合、お金を求めて転職することになりがちです。もちろん、それはいいことです。が、果たして本当のキャリアアップになるのでしょうか。

働くとは何か、という考え方の延長線上で、社員旅行やバーベーキュー、社員たちのスポーツ大会、女子会などのつながりを作り、

んと訴えてこられます。うまく伝えられないこともあります。やはり、実習なしに就職ということはないかと思うのです。そうでなければ、単純にお金だけを目的にした場合、お金を求めて転職することになります。もちろん、それはいいことです。が、果たして本当のキャリアアップになるのでしょうか。

働くとは何か、という考え方の延長線上で、社員旅行やバーベーキュー、社員たちの業務もできるよう、練習しているところです。これからは、ドリンクを作るなどサービスエリアでの業務もできるよう、練習しているところです。

今は厨房内のどのパートも任せられます。これで、ほかの養護学校の先生も来られるようになりました。県下に店舗はたくさんありますので、店舗を選んでいただければ受け入れます。

最初の仕事はハンバーグを焼くこと。作業はまず見ながら覚え、資料をもらって復習します。平日は、ベテランの女性スタッフが多く、接しと、飛び込みでいらっしゃいました。それが「あ、こういうことなのか」というのが分かるきっかけとなりました。「養護学校」というひとつの切り口がわかつてからは、フランチャイズのオーナーさんが養護学校を訪ねコンタクトをとることで、そこから広げられるということを学習しました。高等養護学校では、あらゆる企業で実習をされていますので、その中に当社も入れていただき、実習の結果から興味があれば、「ぜひ」ということになります。では、働くとは何かと考えると、それは

「とりあえず、すべてできるようにだけはしたくない」と感じています。ときつぱり。自己評価としては達成度は5割～7割とのことです。が、店長に「厨房内の作業は全部できます」とのお墨付きです。

慣れないインタビューの場で、照れながら答えていただき、ありがとうございました。

マクドナルド大和新庄店での実習は、昨年の6月に始まり、障害者職業センターから2ヶ月間のジョブ「一チによる支援期間を経て就職となりました。

和田さんは、普通高校を卒業後に就職をしましたが、うまくいかず退職し、相談機関の支援を受けながら実習体験を重ねていました。

平成28年4月1日から施行されます 奈良県障害のある人もともに暮らしやすい社会づくり条例

障害を理由とする差別が禁止されます

障害を理由とする差別とは？

- | | |
|--------------|---|
| 1 不利益な取扱い | 障害を理由として、合理的な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような行為をいいます。 |
| 2 合理的な配慮の不提供 | 障害のある人から、障害のある人にとって障壁となっているものの除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないのに、障壁を取り除くことについて必要かつ合理的な配慮をしない行為をいいます。 |

条例の施行に向けた県の取組

県では、条例で禁止する「不利益な取扱い」の具体的な内容や「合理的な配慮」の好事例等をわかりやすく整理した「ガイドライン」を作成する予定です。

県では、条例の施行を通じて、障害のある人もともに安心して幸せに暮らすことのできる奈良県づくりを目指します。

条例に関するお問い合わせ先
奈良県障害福祉課自立支援係
住所 奈良市登大路町30番地
電話 0742-27-8513 FAX 0742-22-1814
E-mail syogai@office.pref.nara.lg.jp



人間関係の豊かさを育てています。そして店舗単位では、奈良県内を4つのブロックに分けて、アルバイトのスキルを競う競技戦を行っています。昨年は、障害のある方が店舗の代表として出られたんですよ。各ブロックの優勝者が集う決勝戦は、ホテルを借りて行います。表彰の際にはみんなが受賞者を祝福し、涙がこぼれ、私どもそれを見て「働くってそういうことなんだな」と勉強させていただいている。この先には全国大会がありますが、当社の決勝戦が全国大会に匹敵するものなのです。全国大会でどこまで勝つかよりも、いかに楽しく働けるかに重きを置いています。

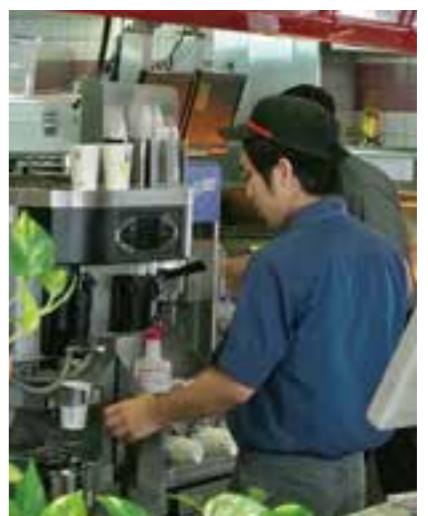
フランチャイジーである日本マクドナルドは外資系ということもあり、評価がスキルアップや成果に集中しがちです。しかし当社では、働くということがもしかしたら一生のおつきあいになることを中心に据えて考え、スキルアップや成果だけではなく、働く目的にフォーカスしたいのです。

ですから、和田さんにも「楽しいですか？」と聞きたいで。单なるアルバイトとして1時間いくら、というだけでないものを得て欲しいという思いがあります。

受入態勢について手探りをする中で発案したこととは、会社内にスピシャリストをつくると、桜井店に障害者担当の専任の店長を配置しました。彼に、講習会への出席などを積極的に行つてもらい、障害者雇用についてどんどん覚えてもらうようにしたのです。社内会議の場で、彼を講師として勉強会を開き、まだ受け入れていない店も事前に知識を蓄えていました。また、すでに受け入れている店にとっては、彼が貴重な相談相手となっているようです。

加えて、ジョブコーチの存在は非常にあります。また、すでに受け入れている店にとっては、彼が貴重な相談相手となっているようです。加えて、ジョブコーチの存在は非常にあります。また、すでに受け入れている店にとっては、彼が貴重な相談相手となっているようです。

一人以上の店舗ですべての障害者雇用を



ドリンクを作る和田さん

どうなんですか」と聞ける人がいるのといないのとでは全然違います。「我々の心のやすらぎはジョブコーチ」と言っています。

近年、精神障害の方が増えつつあることは、店長会議の議題にも出てきます。知的障害の方と精神障害の方の大きな違い、気をつけるポイント、事例紹介等の教育をしていますから、当社では精神障害の方の受入が進んでいくとの声もいただいています。障害の種類も広がってきて、今回初めて聴覚障害の方を受け入れました。それがまた、当社の受入態勢のレベルアップになっています。専任の店長を配置した頃から「1店舗1名は障害のある人を雇用したい」と考えていました。今は半数くらいですので、23店舗全店での雇用を目指したいと思います。

【会社概要】
商号 株式会社アドバンス
本社 〒630-8503 奈良県磯城郡田原本町阪手 626-1
設立 1992年11月10日
資本金 1100万円
従業員数 42名(パートタイマー850名)